平成31年4月7日執行

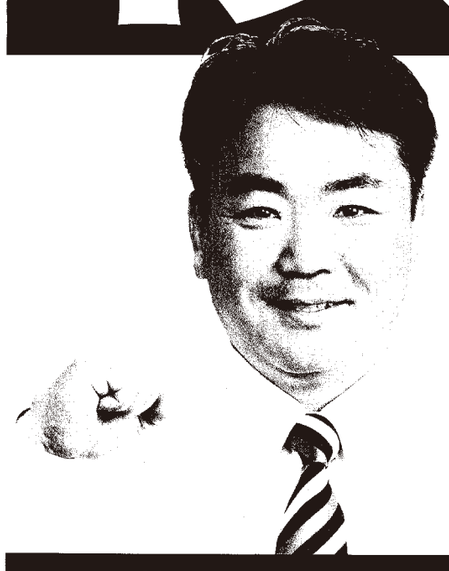
山梨県議会議員一般選挙公報

山梨県選挙管理委員会

（笛吹市選挙区）

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって縮小印刷したものです。）

杉原きよひと



より良い地域づくりのため頑張ります！

略　歴
- ●明治大学経営学部　卒業
- ●株式会社ＵＴＹ企画　入社
- ●有限会社　旅館喜仙（家業）勤務
- ●衆議院議員長崎幸太郎　秘書

45歳

1. 笛吹市の魅力を、国内外に向けて全力で発信します。
2. 農業と観光業を軸に、地元産業の活性化を図ります。
3. 温泉施設等を活用し、移住・定住の増加を進めます。
4. 儲かる農業の仕組みを作り、若者世代の就農を進めます。
5. フードバンクや子供食堂等の子育て支援を強化します。

杉（すぎ）　きよひと　原（はら）

●昭和48年４月17日生

http://www.sugihara.team

大久保としお

豊かで活力に満ちた 山梨の創生

快適・安心の創生

豊かさを生む産業の創生

未来を支える教育の創生

プロフィール

千葉大学法経学部法学科卒業／日之出観光自動車㈱／平成16年～31年笛吹市議会議員／元 笛吹市議会議長

公式サイト

https://www.okubo-toshio.com

昭和三十七年二月五日生まれ

大久保（おおくぼ）　としお

無所属

首都圏力！ 都市力を引き込む政治展開めざす!!

深呼吸のできる山梨

県政を厳しくチェック！偏った政治にブレーキを!!

プロフィール
1972年（昭和47年）5月27日生まれ
笛吹市石和町在住　46才 O型
明治大学商学部卒業
グアム・コミュニティーカレッジ卒業
（ホテルマンとして働きながらの学業）
ロンドン大学大学院合格

経歴
会社員
衆議院議員 加藤紘一秘書
八王子市議会議員（2期）
民進党衆議院山梨2区総支部長
（衆議院候補）として公募で選ばれる
立憲民主党より2017年10月
衆議院選挙出馬、落選

現在
一般社団法人 デマンド・アンド・ケア 代表理事
有限会社 K2コンサルティング 執行役員
国産キヌア生産ファクトリー 代表
日本高山植物保護協会 会員

資格
宅地建物取引士、防災士
福祉住環境コーディネーター
介護職員初任者研修修了
難病患者等ホームヘルパー
終活ガイド（コーディネーター）

家族
小林 多門（父） 元衆議院議員（大月市出身）
小林ひろえ（妻）八王子市議会議員（2期 広島市出身）

趣味
読書、山歩き、ジョギング、ワイン、格闘技・プロレス観戦

地域活動
元消防団員、元青年会議所会員

国会議員秘書、地方議員の経験を生かし、経済の活性化・災害対策

人脈活用

1. 山梨ー東京間の「中央線沿線自治体議員協議会」の結成
2. 全国に「フルーツ王国山梨」「やまなしブランド」を発信
3. 災害時における都内通勤者（帰宅困難者）の安全確保、近隣自治体での受け入れ
4. 首都圏各地から団体観光客の誘致

教育・医療・介護・生活・平和の向上に全力

生活重視

1. さらなるきめ細やかな指導に向けた教職員の定数改善
2. 子どもの貧困による教育格差をなくす
3. ダブルケア（子育てと介護、障がい者福祉）支援
4. いのち、平和を大切にする政治

女性の視点・市民県民パワーを支援

地域おこし

1. 各種団体・女性議員との情報共有（妻は八王子市議会議員）
2. 災害時避難所に女性の視点を！
3. NPOや市民団体の活動を支援し、生活に潤いと充実を！
4. 県外出身者や外国人、学生の新しい発想を生かす政治

税の使い方を厳しく指摘・検証する政治

政治の透明化

1. 議会の本来の役割である「チェック機能」の強化
2. 脱ムダと、入札制度の透明化・罰則強化
3. 不要不急の大型公共工事の必要性を厳しく検証

・立憲民主党推薦
・連合山梨推薦

無所属

小林 ひろゆき

（46歳）

平成31年4月7日執行

山梨県議会議員一般選挙公報

山梨県選挙管理委員会

（笛吹市選挙区）

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版によって縮小印刷したものです。）

前島茂松（まえじましげまつ）

私の座右の銘
先憂後楽
生涯現役

私の生活信条
出逢いを大切に
この道に生きる

貧しくとも惜しみなく私達の先人や先輩は教育に力を注いでくれました。幼児、学校、生涯教育の条件整備に努め、教育・文化県山梨を目指します。

一、県政の役割と財政運営

国民生活に必要な行政課題の九割は地方自治体が担う時代となっています。暮らし易さ、快適性、利便性、豊かな文化が地域住民の願いで若い人達が山梨に誇りと憧れをもって定住できる県政を目指します。

県財政は国の財政と同じく多額の県債を抱え、少子高齢社会にあって社会保障費や行政経費、人件費、県債償還等に追われ、予算の九〇％前後が義務的経費となっており、政策予算は一〇％弱で厳しい財政環境にあり、これを乗り越えるためには県民の経済産業基盤を強化して、自主財源である県税収入確保と財政運営の改革が必要で議会の立場から財政健全化を目指します。

二、医療・福祉の充実

国が年金、都道府県が医療、市町村が福祉と社会保障の行政分担が明分化されています。

山梨も歴史上経験したことのない少子高齢社会に入り深刻です。人生の幸せは老後にあると云われます。「長く生きて幸せだった」「子育てなら山梨が」と自慢と実感が湧く、安心安全の医療・福祉の県政を目指します。

三、農業と工業と観光の振興

山梨の農業は家族農業が主体で耕地面積は狭いですが日本一肥沃な条件にあり、収益性が高く夢と希望が持てます。

また、内陸県で不便さに悩んできた山梨はリニア、中央高速・中部横断道、盆地を円型で結ぶ環状道路が完成しますと、山梨は一変します。

本県の伝統産業、地場産業の推進と併せ、製造型の本社機能を含めた企業立地に努め若者の魅力ある経済基盤の造成強化と美しい山梨の自然環境の資源を再開発し、観光・農業・工業立県による若者の定住と人口減に歯止めをかける県政を目指します。

四、教育と文化の創造

国の発展もふるさとの発展も、たくましく生きる県民力をどう高めるかにあり、その活力源は教育・文化の成果にあります。県政にとって最優先の政策事業は教育です。

五、家庭・地域の連帯と防災

核家族化、家庭基盤の衰弱、地域のまとまりが希薄となりつつあり、人々は心細さを感じています。一人では生きられません。いつ災害がふりかかるか、いつ病気で倒れるか、いつ一人になってしまうのか。みんな心の片隅で心配し合っています。

地域は生活の「ねぐら」です。地域には多様な人々が共存していますが、それぞれの立場を理解し、尊重しながら地域を支える地域共同体の再生が課題となっています。有事に備え、自助・共助・公助の組織体制の施策を目指します。

六、ふるさと笛吹市の発展を

七つの町村が合併して一四年が経過しました。山梨の中心、母なる川笛吹川には約一ｋｍごとに八つの長橋がある珍しい市です。果樹王国山梨の中核を担い、各種企業の進展や豊かな温泉と歓楽街、甲府盆地を一望できる周囲の里山からの景観、医療・福祉の施設等を含め県内一の豊富な資源を持つ誇れる我がふるさと笛吹市です。

この愛するふるさと笛吹のさらなる発展を願い、市民の思いと私の思いを合体し、県政につなげるとともに市民の代表として全力を注ぐ決意です。

七、議会の使命

地方自治体は二元性の行政仕組みです。県政は知事を首長に県職員による行政執行の立場を担っています。

議会は各選挙区から選出された議員により執行者と向き合い、行政執行の諸問題を審議、チェックし、議決する議決権を担っています。議会は馴れ合いを戒め、その使命を全うすることを県民は期待していることを反復し初心を忘れず議会の使命を目指します。

県政課題への取り組みについて

決断と実行

主たる略歴
八代町町議会議員
県議会議会副議長
県議会議会運営委員長
県監査委員・
北富士演対協会長
各常任委員長
各特別委員長
（かいじ国体・議会基本条例 等）
自民党県連幹事長
自民党県連会長代行
現自民党県連副会長
現山梨県社会福祉法人
経営者協議会会長
現笛吹高校同窓会長

志村なおき

無所属

未来に希望を！ 生活に安心を！ みんなで一緒に県政にGO!!

●県民に信頼される議会活動・議会改革　●県政報告会の開催・情報発信・意見交換の場づくり　●市および市議会との連携

1 行政・財政・総合政策

歳入歳出の見直しによる健全な財政運営
経常収支比率の改善、県債残高の削減と公債費の抑制
人口減少時代への対応と自主財源比率の向上
行政評価、公共施設マネジメントの実施
AI・IoT、ICT の利活用、地方分権の確立
知的財産戦略、デジタルアーカイブの推進（DAやまなし構想）

2 産業振興

観光、農林業の振興、新産業・成長産業の集積、企業立地の促進
産業力の強化、人材育成、中小企業振興、起業支援
製造業（精密機械、電子部品等）、情報通信、運輸業等の支援
産地ブランド力強化、地域資源のブランディング、
インバウンド対応、DMO の推進、UJI ターン就農支援、
小規模農業から法人・大規模営農まで経営支援、
農産物の販路拡大の促進、鳥獣害対策、
森林資源の利活用（ペレット、CLT 利用促進）
ワイン産地の確立推進、伝統工芸・宝飾産業の振興

3 子育て支援

ライフステージに応じた子育て支援策の推進
産前産後ケア、子育て安心保育事業の推進
子どもの貧困対策・学習支援、子育て関連施策の総合調整
発達障害等に対応した医療等の高度化、支援体制の強化

4 教育・文化・スポーツ

少人数教育、学力向上、不登校等への対応、教職員の多忙化対策
高等学校就学支援、私学振興、特別支援教育の充実
歴史、芸術、伝統等の文化振興、文化財保護、体験学習・生涯学習の推進
スポーツ振興、オリンピック・パラリンピックへの対応

5 医療・介護

地域医療の充実、病床の機能分化・連携の推進、在宅医療の推進
医療人材確保、がん対策の強化、医療費抑制対策、
自殺対策、健康寿命の延伸促進、PT・OT・ST 等リハビリ人材支援
地域包括ケア体制の整備促進、介護施設等の整備支援、介護人材確保

6 高齢者・障害児者福祉

地域福祉の推進、障害者差別解消対策、農福連携の推進
地域共生社会の構築、ユニバーサルデザインの推進
認知症対策、虐待防止、日常生活支援、就労支援
NET119の普及促進、電話リレーサービスの検討（国への働きかけ）

7 県土整備

リニア中央新幹線開業に向けた交通ネットワークの整備
中央本線の高速化・ダイヤ改善対策、高速道路網の整備充実
新山梨環状道路、物流アクセスの向上、交通網の充実強化、
新たな御坂トンネルの整備、地域公共交通の整備促進

8 県民生活・防災・環境保全

防災・減災対策、消防行政の充実、耐震化対策
地震・水害・土砂災害等への対策強化、生活インフラの更新・整備
消費者教育、消費生活相談の推進、環境施策の推進
ボランティア・NPO 活動の支援、移住・定住促進
景観保全、廃棄物処理対策、クリーンエネルギー利用促進

志村なおき のこれまで 49歳

●笛吹市議会議員（3期・2008年～2019年）
●笛吹市農業委員（第22期・2014年～2017年）

・未来の山梨を拓く議員の会「来山会」会員
・笛吹市立富士見小学校PTA会長（2012年・2017年）
・笛吹ロータリークラブ会員
・笛吹市経済懇話会会員
・山梨手話通訳問題研究会会員（手話検定３級）
・山梨学院大学大学院社会科学研究科修了（公共政策修士）

笛吹市から山梨県の未来を創る！

子どもにツケをまわさない！

昭和44年11月3日生

いとうまり

無所属

石和町下平井在住／家族は夫と子ども4人
編集者・環境省 環境カウンセラー
KAERU POWER PLANT 主宰

無所属
やまなし女と男ネットワーク推薦
21世紀やまなし女性会議 推薦

実績で証明！行動する市民活動家

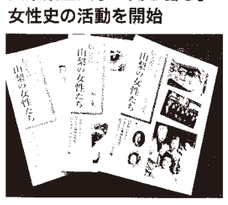
環境カウンセラー（環境省）/ やまなしエコティーチャー（山梨県）/ かえっこカエルクラブ 代表 /「かえるの森へ！」をかんがえる会 代表
NPO 法人静岡県環境カウンセラー協会 理事 /NPO 法人伊東里山クラブ 理事 / 生活協同組合パルシステム山梨 理事（2018年12月27日 退任）
山梨県立大学・やまなし地域女性史「聞き書き」プロジェクト 事務長 / やまなし女と男ネットワーク 事務局役員
子どもたちの未来を守る「オール笛吹」の会 事務局 /９条改憲 NO!３０００万署名 笛吹市民アクション 事務局
笛吹市長寿介護課第１層協議体委員 / 笛吹市民まつり実行委員 / ふえふき子ども子育て関係者連絡会メンバー / 笛吹市ボランティアセンター広報部員

2019.1.29「議席の半分に女性を！」集会に参加。

帰選会館にて勉強中。

2007～
山梨県環境アドバイザーから環境省環境カウンセラーに

2005～
山梨県立大学「聞き書き」女性史の活動を開始



2004～
地域通貨事務局長をきっかけにこども通貨“かえっこ”開始

1997～
男女共同参画推進活動、ジェンダー平等啓発開始

1993～
共同保育・生活協同組合の活動から市民活動を開始

ふだんの 山梨カエル計画 I

女性や若者の意見も聴いてほしいなぁ

女性・若者の政治参画、平和と人権、民主主義に基づく政治を山梨から

①県政の見える化とチェック機能の確立
②市民目線の県政情報発信
③女性若者向け政治スクール開設
④女性相談窓口の倍増

くらしの 山梨カエル計画 II

山梨の人や資源を大切にしてほしいなぁ

開発より暮らし優先の産業政策 未来世代の人をも考えた環境政策

①食の安心安全・地産地消
②再生可能エネルギーで脱原発
③水や森林資源の保全と活用

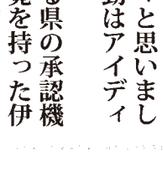
しあわせ 山梨カエル計画 III

明日の不安がなくなるといいなぁ

生涯を通じ安心して暮らせる 子どもにとっての最善を尽くす

①孤立を防ぐための地域の居場所
②教育と福祉の保障はこどもの権利
③しあわせな職場・働き方改革
④公共交通機関整備で移動弱者対策

いとうまり さんを応援します。



山梨県議会議員を目指す、の一報に絶対応援しなきゃと思いました。地域活動を教えている私から見ても、彼女の活動はアイディアに富んだ素晴らしいものでした。

私は、県政にずっと閉塞感を感じ、また議会は単なる県の承認機関のように見えていました。女性の視点、市民の感覚を持った伊藤さんはここに一石を投じてくれると確信しています。

前澤 哲爾
ライフ・アーチスト
山梨県立大学名誉教授